

令和2年度事業報告書

〔事業概要〕

人生100年時代を迎え、シニア世代の生き方や価値観が変化しており、高齢化社会の進行や人口減少化の中、シニア自らが地域の一員として、地域社会を支えていくことが求められています。

こうした時代背景の中で、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の波が幾度か押し寄せてまいりました。当センターは、設置目的である「豊かで活力ある長寿社会の実現」に向け、関係機関・団体と連携を図りながら、感染拡大防止のためシニアの活動を自粛せざるを得ない中においても、今できることを考え、また、今後の活動に結び付く施策を推進してまいりました。

意識づくりの事業では、情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信するとともに、「人生二毛作実践事例集」等により、シニアの活動を広く周知しました、また、中高年者の社会参加活動を推進するため、公益性や継続性が高い事業に助成しました。さらに、市町村、市町村社協、老人クラブ、シルバー人材センター等の関係機関と連携し、オンラインも活用した「ネットワーク会議」を開催し、情報交換を図り高齢者の社会参加活動を促す取組を推進しました。

人づくりの事業では、新型コロナウイルス感染防止のため、「長野県シニア大学」を1年間休校としました。休校中は、学部通信等により学生の学ぶ意欲の維持を図りました。また、翌年度の開校を目指し、策定した感染防止対策基準に基づき、感染対策を講じた講座運営の準備を進めました。

仲間づくり・健康づくりの事業では、信州ねんりんピックの文化交流を特別企画に変更し、シニアの各種作品をホームページなどで紹介するとともに、ラジオ放送も組み入れ広く県民に周知を図りました。なお、スポーツ交流は中止とし、また全国健康福祉祭ぎふ大会は翌年度に開催延期となったため、長野県選手団の派遣を中止しました。

コーディネートの仕組みづくり事業では、「シニア活動推進コーディネーター」が軸となり、オンラインも活用して関係機関と連携体制を構築し、シニアの社会参加を支援しました。また、シニアの活動が自粛される中で、手作りマスク等在宅でできる取り組みや社会参加を推進する手段としてラインやズームの操作を学ぶスマートフォンセミナー開催などにも携わりました。

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

① 情報誌発行事業

高齢者に関係の深い文化や社会参加活動等に関する情報を発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図りました。

また、市町村・市町村社協・図書館・公民館等に配付し、センター事業のPRとともに社会参加活動の啓発、賛助会員制度の周知等を行いました。

さらに、情報誌企画・編集委員会を開催し、読者の声をもとに誌面内容等の検討を行いました。

- ・ 誌 名 「信州りらく」
- ・ 発行回数 年3回（7月、11月、3月）
- ・ 発行部数 5,000部／回
- ・ 配布先 賛助会員、市町村、図書館、公民館、公的病院 等

▶情報誌企画・編集委員会

- ・ 開催日 令和3年1月12日（火）〔オンライン〕
編集方針・紙面構成等について協議
- ・ 委 員 5名

② 広報事業

報道機関への情報提供を行う等、センターの実施事業や高齢者の社会参加の啓発を推進しました。

(2) 啓発普及事業

高齢者の生きがいと健康づくりに対する県民各層の意識の高揚を図るため、広報啓発活動を実施しました。

① 広報啓発事業

センターの役割や事業体系・内容等を紹介したパンフレットを配布することによりセンターの事業を広く県民等に周知するとともに、「人生二毛作実践事例集」や「人生二モウサク劇場ウェブ版」を通じて、シニアの活動事例を広く県民に紹介しました。

② ホームページ運営事業

センターの各種事業、支部・地区賛助会の活動状況等に関する情報をタイムリーに掲載するとともに、在宅での「脳トレ・レクリエーションゲーム」やシニアの投稿写真「信州良いところ、良い景色」、手作りマスクの活動等、コロナ禍での取組みについて情報発信を行いました。

また、新たに「信州ねんりんピック」の特設サイトを設置し高齢者作品等を掲載しました。

③ 表彰事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動に特に功績のあった賛助会員の個人、

グループを表彰し功績をたたえ、社会参加活動の一層の推進を図りました。

- ▶ 知事表彰 個人 1、グループ 2
- ▶ センター表彰 個人 5

(3) 活動推進事業

高齢者等による社会参加活動を推進するため、活動経費の助成等を行いました。

① センター支部活動事業

支部ごとに、講演会、トークセッション、地区高齢者作品展などを実施するとともに、人生二毛作推進事業として、オンラインも活用し高齢者の社会参加をテーマに県民参加の「タウンミーティング」を各支部で開催しました。（新型コロナウイルス感染防止のため中止した 4 支部を除く）

- ▶ タウンミーティング参加者 423 人

② いきいき中高年社会貢献活動支援事業

中高年者が地域社会への関わりを深めるきっかけづくりとするため、地域社会へ貢献しようとする 概ね 50 歳以上の中高年者を中心に結成されたグループを対象に、その活動経費を助成しました。応募者のプレゼンテーション及び審査会はオンラインで実施しました。

- ▶ 助成額 8 グループ 805,532 円

③ 高齢者地域活動会議運営事業

人生二毛作社会づくりを推進させるため、市町村、市町村社協、老人クラブ、シルバー人材センター等の関係機関が参加し、シニア活動推進コーディネーター等との連携を図りながら、オンラインも活用して各支部で「ネットワーク会議」を開催しました。（新型コロナウイルス感染防止のため中止した 1 支部を除く）

2 人づくり

(1) 人材育成事業

① 長野県シニア大学運営事業

新型コロナウイルス感染防止のため、令和 2 年度においては一般コース、専門コースとも 1 年間の休校としました。

また、次年度の開校を見据え、「長野県シニア大学における新型コロナウイルス感染防止対策基準」を策定し、必要な感染対策の整備を進めました。

〔一般コース（2 年制）〕

＜生きがいづくり・仲間づくり・社会参加のきっかけづくりを目指します＞

休校中は、各学部の講義概要や学生からの投稿等を掲載した学部通信を発行するとともに、在宅での健康づくりへの意識啓発を行いました。

- ▶ 定員 各学年 920 人（10 学部合計）
- ▶ 入学・進級予定者数（R3.3.31 現在）
1 年生 486 人 2 年生 443 人

〔専門コース（地域プロデュース専門コース）（1 年制）〕

＜地域課題を的確に捉え、それを解決する専門的なスキルを持ったリーダーやプロデューサー的な人材の養成を目指します＞

（学習テーマ）

- ・ライフデザイン（創造的な生き方）
- ・コミュニティデザイン（地域創造）
- ・ビジネスデザイン（社会的起業）

休校中は、講義概要や講師からのメッセージ等を掲載した学部通信を発行するとともに、学生のオンライン環境を調査した上で、ズームでの会話等を試行しました。

また、希望した学生がオンラインにより講師等との交流（おしゃべり楽校）に参加しました。

- ▶ 定員 30 人（専門コースを長野学部に設置）
- ▶ 入学予定者数（R3. 3. 31 現在）
31 人
- ▶ シニア地域プロデューサー
専門コース修了生は、「シニア地域プロデューサー」としてセンターに登録し、センターと連携を図り、各地域で活動を行っています。（登録者 76 人）

② シニア大学運営委員会の開催

シニア大学の運営や新しい生活様式での講座について意見交換を行うとともに、社会参加講座や令和 3 年度の学生募集について検討を行いました。

- ▶ 開催日 令和 2 年 10 月 23 日（金）
- ▶ 運営委員 学識経験者等 6 名

③ 社会活動推進員会議の開催

新しい生活様式でのシニア大学の講座運営について検討を行うとともに、シニア大学における新型コロナウイルス感染防止対策及び令和 3 年度の学生募集について協議を行いました。

- ▶ 開催日 第 1 回 令和 2 年 6 月 9 日（火） 第 2 回 令和 2 年 7 月 2 日（木）
第 3 回 令和 2 年 8 月 18 日（火） 第 4 回 令和 3 年 1 月 26 日（火）

3 仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、信州ねんりんピックの文化・芸術交流大会の当初企画を変更して特別企画展を開催し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進しました。なお、スポーツ交流大会及び全国健康福祉祭選手派遣事業は中止しました。

① 信州ねんりんピック開催事業

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術祭を、安曇野

市を会場に開催を予定しましたが、感染防止のため中止とし、代替企画として特別企画展を開催しました。

(特別企画展)

ア 文化・芸術交流大会

(7) エッセイ・俳句・川柳公募企画

- ▶ 募 集 令和2年9月10日(木)～10月31日(土)
- ▶ 応募作品 エッセイ 72点、俳句 527点、川柳 427点 計 1,026点
- ▶ 作品紹介 入賞作品をセンターホームページで紹介
センター本部と入賞者によるオンライン交流会の開催(12月21日)

(イ) ラジオ特別番組の放送

- ▶ 期 日 令和2年11月24日(火) 9:05～13:00
- ▶ 放送局 SBCラジオ「坂ちゃんのずくだせ えぶりでい」
『信州ねんりんピック シニアならではの思いを語る日』
- ▶ 内 容 信州ねんりんピックやセンター事業紹介、視聴者やシニアからのメッセージ、エッセイ・俳句・川柳公募企画入賞者発表 他

(ウ) 高齢者作品展

- ▶ 募 集 令和2年6月～10月16日(金)
- ▶ 審査会 令和2年11月11日(水)～11月12日(木)
- ▶ 作 品 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真(133点)
- ▶ 作品紹介 センターのホームページ(特設サイト)で全作品紹介
長野県社会福祉総合センター、県立長野図書館で優秀作品展示

イ スポーツ交流大会

※ 令和2年9月26日(土)に大町市運動公園を会場に、10競技種目の開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。

② 全国健康福祉祭選手派遣事業

※ 令和2年10月31日(土)から11月3日(火)に岐阜県で開催予定であった第33回全国健康福祉祭ぎふ大会「ねんりんピック岐阜2020」が翌年に開催延期となったため、選手派遣を中止しました。

(2) 活動推進事業

地区賛助会活動への助言・支援、グループ活動への助成、加入促進キャンペーンの実施等により、会員への活動支援と入会促進を推進しました。

① 賛助会員募集事業

地区賛助会との連携強化のため意見交換を実施するとともに、賛助会員の特典となる、料金の割引サービスを提供する「割引協力店名簿」を作成し会員に配布しました。

ア 地区賛助会交流会の開催

コロナ禍での賛助会員活動の現状や賛助会員減少等の課題について、一部オンラインも活用し各地区賛助会役員との意見交換を行いました。

- ▶ 開催時期 令和2年12月～令和3年3月
- ▶ 開催回数 10回（各地区1回）

イ 賛助会員等の状況（令和3年3月31日現在）

- ▶ 個人会員 1,915人 法人会員 69団体
- ▶ 活動グループ数 138グループ（会員1,434人）
- ▶ 割引協力店 239施設

② 地区賛助会運営費交付事業

地区賛助会が行う活動発表会の開催、会報の発行、会員の加入促進など、運営に係る経費を交付しました。

- ▶ 交付額 1,698,000円（10地区合計）

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業

賛助会員代表（20人）と支部事務局長（10人）から構成する連絡協議会を開催し、地区賛助会活動の推進、センター事業等のあり方、社会参加活動等について意見交換するとともに、地区賛助会活動の連絡調整を図りました。

- ▶ 開催日 第1回 令和2年8月21日（金）、8月25日（火）〔オンライン〕
5地区ごとに2回に分け開催
第2回 令和3年1月21日（木）〔オンライン〕

④ 賛助会員グループ活動支援事業

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成しました。

- ▶ 助成額 138グループ 1,683,100円

⑤ 賛助会員グループ立上げ給付金事業

賛助会員が新規のグループを設立する際に給付金を給付し、高齢者の自主的な社会参加活動を推進しました。

- ▶ 給付額 13グループ 130,000円

4 コーディネートの仕組みづくり

(1) 活動推進事業

① 高齢者社会参加促進事業

高齢者の社会参加ニーズと地域社会の高齢者に対するニーズ情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」を配置し、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と連携体制（プラットフォーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行い、高齢者の多様な社会

参加を支援しました。

また、コロナ禍でシニアの活動が制限される中で、手作りマスク等在宅でできる取り組みや、社会参加をすすめる手段としてラインやZoomの操作を学ぶスマートフォンセミナーを通信会社と連携して開催しました。

- ▶ コーディネーターの配置 本部 1 名・各支部 1 名（合計 11 名）
- ▶ コーディネーター相談件数 延べ 5,015 件

5 センターの運営

センターの運営について審議するため理事会、評議員会を開催したほか、事業の円滑な推進を図るため支部事務局次長等会議等を開催しました。

(1) 理事会

- ▶ 第 20 回理事会 令和 2 年 5 月 25 日（月）〔決議の省略〕
 - ・ 令和元年度事業報告、財務諸表等について
- ▶ 第 21 回理事会 令和 3 年 3 月 5 日（金）
 - ・ 令和 3 年度事業計画、収支予算等について

(2) 評議員会

- ▶ 第 19 回評議員会 令和 2 年 6 月 19 日（金）〔決議の省略〕
 - ・ 令和元年度事業報告、財務諸表等について
- ▶ 第 20 回評議員会 令和 3 年 3 月 22 日（月）
 - ・ 令和 3 年度事業計画、収支予算等について

(3) その他の会議等

- ▶ 支部事務局次長等会議
 - 第 1 回 令和 2 年 4 月 25 日（木） 〔書面〕
 - ・ 令和 2 年度事業の推進等について
 - 第 2 回 令和 2 年 12 月 17 日（木） 〔オンライン〕
 - ・ 令和 3 年度事業概要等について協議、意見交換

(4) 監査

- ▶ 監事監査 令和 2 年 5 月 14 日（木）
 - ・ 令和元年度事業執行状況及び収支決算の状況等について